

2014年度森泰吉郎記念研究振興基金研究成果報告書
申請題目「中国の贈収賄における「不正のトライアングル」の検証」

政策・メディア研究科
修士課程
町田 花里奈

1. はじめに

この度は、森泰吉郎記念研究振興基金をいただき、修士論文の執筆に必要な多くの資料を収集することができましたことに対して、心から御礼申し上げます。

いただいた研究費書籍や資料収集、インタビュー調査などの活動費用に充当させていただき、貴重な文献や情報を収集することができました。

2. 報告

①慶應義塾大学大学院の修士論文では、現代社会において深刻な政治問題である中国共産党幹部の政治腐敗について、政治学及び犯罪学の観点から分析を行いました。具体的には、中国鉄道部をめぐる贈収賄の事例を検討することで、贈収賄が発生する仕組みを解明しました。

②中国復旦大学の修士論文では、当局の公式ホームページから資料を収集し、「近年来中国共産党的反腐倡廉努力研究 — 以維護政治穩定為視角」を題目にした修士論文を完成させました。

3. 今後の課題

修士論文では、中国における贈収賄の仕組みの一端を解明できましたが、贈収賄の仕組みは一つだけではありません。しかし、さらに掘り下げた贈収賄の仕組みを検討する際には、資料の制限も加わり、完全に解明できないのが現状です。

今後の研究においては、中国の特殊性を贈収賄の原因に据えるのではなく、理論を積極的に取り入れて、贈収賄の仕組みについて引き続き研究を続けていきます。

4. おわりに

今回の修士論文は、慶應義塾大学研究支援センターの皆様の多大なるご協力のもと、森泰吉郎記念研究振興基金をいただけたことによって成し遂げることができました。心から御礼申し上げます。本当にどうもありがとうございました。そして、貴重な文献を入手し、有意義なフィールドワークできる貴重な経験を提供していただきまして、どうもありがとうございました。心から感謝申し上げます。